Juniperus chinensis

枝 イブキ

ヒノキ科

使用部位

季節

春

夏

秋

冬

入手困難

流通量（少）

池坊

この流派でよく使う種類	カイヅカイブキ
使用量	（中程度）　1/2が年に一度は使用する
使用時期（お稽古）	通年
本数	お稽古で一人あたり３本で使用することが多い
葉、枝	６０cm位
特徴	「立花」のお稽古でこれほど重要な花材はない。「松・桧・伊吹」は池坊では華道の三木といい、とても重要である。

小原流

この流派でよく使う種類	シンパク、ハイビャクシン、タイワントショウ、トショウ　和名：ビャクシン（柏槇）
使用量	（少ない）　花展など大きめの作品に使うなどする
使用時期（お稽古）	中部から関西では稽古花にも使用するが、関東方面はほとんど使わない
使用時期（試験）	通年
本数	２～３本
葉、枝	稽古用では５０～７０cmを２～３本使用。大いけでは１００cm以上を使用
特徴	動きのある枝ぶりを生かして使う。ためも効くので形を整えやすい。枝をあまり短くすると花材の特徴が弱くなるので、やや大きめの作品に仕上げるとよい。

龍生流　＊龍生派では古は古典花、自は自由花を指します。

使用量	（多い）
使用時期（お稽古）	古：立華の一部分に使用する　生花も使用
本数	８本　通年
葉、枝	古：立華　３本　５０～６０cm　生花では９本　９０cm

生産者情報

産地名	地域	連絡先／担当	備考
澤口靖	静岡県浜松市	03-3799-5526 （市場）FAJ 切花部	１～１２月